

株式会社 犀潟鉄工所

DX宣言書

2025年9月1日
株式会社 犀潟鉄工所
代表取締役 伊倉 達成

□ 経営理念

“常に信頼される”をベースに優れた製品を安価で提供し、社会の発展に寄与する

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用して全社的な業務効率化を実施します
- ◆ 社内のDX推進で培った知見を地域に還元し、地域と共に歩む企業を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2026年2月)

戦略 「DX推進に向けた土台作り」

- 施策
- ・ 全社を横断してDXを推進するチームを結成
 - ・ 全体の業務効率化に向け、外部専門家からの協力も得ながら業務フローを可視化し、現在の業務が抱える問題点や課題を特定
 - ・ 特定した課題に対し、具体的な対応策や優先順位付けを行い、DX実行計画を策定
 - ・ 社員が主体となった業務改善の取り組みを活性化するため、優れた取り組みを評価する制度を導入
 - ・ 社内一丸となってDX推進を行うため、全社員を対象にDXに関する基本的な知識や最新情報を学ぶ勉強会を実施

➤ フェーズ2(2026年3月 ～ 2027年8月)

戦略 「デジタル化による業務プロセスの改革」

- 施策
- ・ フェーズ1で策定したDX実行計画を実施
 - ・ 勤怠管理システム導入に向けた要件整理と、給与計算との連携方法を検討
 - ・ 生産管理業務の属人化を解消するため、業務を標準化し、デジタル技術を段階的に導入することにより、生産計画や在庫等の情報を全社員で共有・管理できる体制を構築
 - ・ 経験豊富な技術者のノウハウを継承するため、製造工程の動画やオンラインマニュアルを作成

➤ フェーズ3(2027年9月 ～ 2028年8月)

戦略 「継続的なDXの取り組みと新たな価値創出」

- 施策
- ・ これまでの取り組みの成果と課題を総括し、明らかになった課題に対する改善を進めることにより、継続的な業務改善・DXを推進
 - ・ 当社のDX成功事例を上越地域の企業や学校と共有することにより、上越地域の技術者育成に貢献
 - ・ 業務効率化で創出した時間を最適に活用し、労働負担の軽減や働きやすい職場を実現

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- | | |
|-------------|---------------------------|
| ・ DX実行計画の策定 | ： 完了(～2026年2月) |
| ・ 作業標準書の作成 | ： 完了(～2027年8月) |
| ・ 社内勉強会の実施 | ： 年2回以上(～2028年8月) |
| ・ 紙の使用率削減 | ： 2024年度比 30%以上(～2028年8月) |